

2017/10/4~13

姉妹都市フェデレーション市との20年にわたる絆を祝って Sister City Program with Federation Council in 2017



姉妹都市豪州フェデレーション(旧コロワ)市から、訪問団(議員2名、引率1名、学生7名)が三木市を訪れました。吉川町とコロワ市が姉妹都市を提携して20周年にあたる今年、コロワ市が近隣市との合併を経て、フェデレーション市となりました。

この度の訪問では、新市として三木市・フェデレーション市姉妹都市提携の調印式が行われました。



フェデレーション市 ゲイル・ロー議員あいさつ(抜粋)

三木市で共に姉妹都市交流20周年を記念し、調印式に臨むことができ、大変光栄です。20年目を迎えたこの交流は大変価値のあるもので、我々は生涯の友人と出会うことができます。教育・文化など、様々な分野において、今後も両市の交流が発展することを願っています。

三木市 仲田一彦市長あいさつ(抜粋)

両市の姉妹都市交流は、関係者の皆様の熱意とご尽力に支えられ、20年という節目の年を迎えることができました。この交流は、青少年にとって海外への関心、そして故郷の素晴らしさを認識するきっかけにもなります。今後、さらに多くの方が新しい出会い、旧友との再会など、交流に広がりを生み出されることを心より願っています。

タガログ語

世界の国のゴンニチハ②
~フィリピン編~



KUMUSTA
(クマスタ)

監修: アンジェリーさん



姉妹都市交流20th Anniversary ~再会、そして新たな出会いを紡いで~

姉妹都市交流20周年記念祝賀会

艶やかな着物に身を包んだ訪問団と、来賓そしてホストファミリーなど総勢40名による三木市からのおもてなし。

両市の代表による乾杯から始まったパーティ中盤では、訪問団員が各々、ホストファミリーと一緒にステージ上でショートスピーチを行いました。



三木市内の皆さんと交流して~岡田金属工業株式会社・志染中学校・三木高校~

岡田金属工業株式会社では、鋸製造の工程を見学、そして製品をお借りして木片切りを体験させていただきました。志染中学校では、教諭による英語落語、生徒の皆さんによる日本文化紹介ワークショップにて紙風船や福笑いを一緒に

に行いました。

三木高校では、英語を使ったゲームを通して、生徒の皆さんと笑いの絶えない交流をしました。



世界遺産を感じて ~姫路城・平和記念公園・宮島~

姫路城では、英語ガイドの方にお世話になり、播磨の歴史と共に、城内を見学しました。

広島市の平和記念公園では、英語語り部の小倉桂子様から自身の体験を交えた戦争中のお話を聞き、資料館内を見学しました。訪問団の議員のお2人は、若者たちが、平和の尊さを次世代に伝えてくれることを願っておられました。



日本文化を存分に楽しんで ~瞑想・うちわ絵付け・書道・茶道~



吉祥寺を見学



絵手紙サークルの皆さんによる
うちわの絵付け体験



吉川高校書道部の皆さんによる書道体験



三木高校茶道部の皆さんによる
茶道体験

第1回国際理解講座 赤い文化・青い文化～多文化共生によせて～

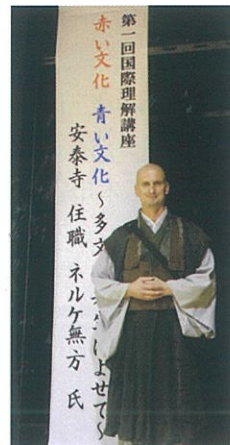
講師 ネルケ 無方 住職 (安泰寺)

2009年の講演に続き、2度目の今回も150名もの参加がありました。ネルケさんは、現在も新温泉町の安泰寺で檀家を持たず、海外からの青年たちと座禅を組み、自給自足の生活をされています。

まず、ドイツで育った中国人女性が様々なジャンルにおいて「中国を赤、ドイツを青」で比較した資料を用い、固定観念にとらわれず、多様性を理解することがグローバル化に繋がると語られました。

次に自身が子どもの頃に母を亡くしたことがきっかけで、人は何のために生きるのかという疑問に悶々とした日々を振り返られました。その後、高校で座禅好きの教師に勧められたサークル活動にのめり込み、知識を深めたいと日本へ留学。当初、文化や習慣の違いに戸惑われたことや、京都の寺での修行や大阪城でのホームレス生活などの経験の中で悟られたことをお話いただきました。

「喜心・老心・大心」億劫なことに対しても、親のような大きな気持ちで喜んで向き合うということを教えてくださいました。目を閉じ、呼吸を整え、無の境地になる瞑想を体験した参加者からは、精神の健康のために続けるとの感想がありました。



2017/8/3 三木市立中央図書館

第2回多文化共生理解講座 外国人と異文化交流をしよう! ～イギリス編～

講師 ジョシュア・ブリードンさん(ケンブリッジ大学)

三木市にいながら海外を旅した気持ちになるこの講座。今回はイギリス人のジョシュアさんから家族や大学生活などの紹介、更にイギリスの教育制度、医療現場、政治経済に至るまでの話を聞きました。特にイギリスのEU離脱に関するユーモアたっぷりの辛口コメントは興味深かったです。



2017/10/15 三木市立中央図書館

第3回多文化共生理解講座 外国人と異文化交流をしよう! ～ブラジル編～

講師 志岐 フランシスコ ムネトシさん、小野村 智恵さん(翻訳ボランティア)

その昔、両親が渡泊され、ブラジルで生まれ育った在日約10年のご夫妻により、リオデジャネイロなどの大都市やアマゾン川流域の町の人々の生活や文化など、また、世界遺産などが紹介されました。

幼い頃から家庭では日本語オンリーだったので、昨今日本人でも上手く使えない尊敬語や謙遜語などを交えて話されたことに感心しました。

このように多様性を理解し、2言語以上を駆使する人々が活躍されることで多文化共生社会が促進されることを期待します。



ジョシュアさんを迎えて

兵庫県国際交流協会の事業“OXBRIDGE English Summer Camp”の一環で英国ケンブリッジ大学の医学部3年生 Joshua Breedonさんが三木市の家庭に滞在され、様々なイベントで三木市民と交流されました。



仲田市長と宮永会長と共に



さよならパーティでは歓談と音楽を



ゲストとの楽しいひと時

この夏、ジョシュアさんを受け入れる機会を得ました。事前に食事等の用意を電子メールでやり取りをしていましたが、実際に来られると聞き取りが難しく、なかなか意思疎通を図れなかったことが悔やまれます。今時の若者らしくらず、食事後は自分でお皿を下げて、入浴後もきれいに片付けていたのには感心しました。

最初は外国人に抵抗があった子供たちも、“Hello”“I'm sorry”と話せるようになり、外国人との隔たりがすこし緩和されたように感じられました。

神経に興味があるとのこと。偉大な脳科学者となって是非三木の地に再び来ていただきたいものです。

ホストファミリー A1613 松本正孝

2017/8/4 三木市立中央公民館

Kid's English in Miki

市内の英会話サークル講師が中心となり、ゲストのジョシュアさんと子どもたちが楽しく英語で交流しました。

僕は初めて兄弟3人で参加しました。ジョシュア先生と一緒にした英語のフルーツバスケットゲームは、楽しく盛り上がりました。

ピニャータは、外国版スイカ割りで目隠しされ、紙のスイカを2回叩きました。目が見えず、少し怖かったけど、楽しかったです。プレゼンでは、英語の文が読めるか心配でしたが、スラスラと読めたので自信ができました。何事にもチャレンジするのに意味があると感じました。

ジョシュア先生がイギリスについて解り易く紹介してくれて、僕は将来イギリスに行ってみたいなと思いました。



別所小学校 6年 正井 瞭多郎

ゲストを見た女の子は「ジャスティン・ビーバーみたい!」と興奮気味。ジョシュアさんによる「イギリス紹介」では、同じく島国である日本との比較が興味深く、ほぼ英語のプレゼンであったのに「イギリス〇×クイズ」では間違える子どもはいません。ジョシュアさんのわかりやすい英語と子どもたちの英語力に感心。また子どもたちによる「三木の紹介」では臆せず英語で説明する中高学年の姿に驚くばかり。

盛りだくさんの2時間があったという間に“Good bye”になりました。かつて常連であった子どもたちも高校生になり、アシスタントとして参加してくれたこのイベント、来夏はどんな出会いがあるか、今から楽しみです。

ボランティアリーダー 会員404 片山 式子

子ども英語暗唱大会

共催：三木市教育委員会・兵庫県立三木高等学校



低学年20名、高学年20名、計40名の出場者が課題文を暗唱して発表しました。

今年、小学校1年生の応募が多く、ある地域では小学校をあげて取り組まれ、成果を上げられました。審査員には、市内小学校のALTや学識者に、司会進行には、三木高校国際総合学科の生徒2名にお願いしました。結果は、右記の通りです。

低学年の部

大賞 ふじ わら ひろ のぶ
藤原大暢

教育委員会賞 きた の のぞみ
北野希望

国際交流協会賞 い づつ けい すけ
井筒圭祐
(敬称略)

高学年の部

大賞 さか した に な
坂下仁那

教育委員会賞 いし だ よう せい
石田陽聖

国際交流協会賞 さか した き や
坂下祐弥
(敬称略)

「子ども英語暗唱大会」に出場して

わたしは、課題文の一つである「WE ARE ALL ALIKE…WE ARE ALL DIFFERENT」というお話がとても気に入って、暗唱大会に出場することを決めました。最後のWe are a family.というところが大好きです。わたしは、世界中の人々が、一つの家族のように仲良くなれたらいいなと思います。その気持ちが伝わるように、一つ一つの言葉の意味を考えながら、ジェスチャーをつけて発表しました。

夏休み中に課題文のCDを繰り返し聴いて、練習しました。賞が頂けるとは思っていなかったのですが、自分の名前が呼ばれたときは、とてもびっくりしました。これからも英語の勉強を続けて、世界中の人とお友達になりたいです。

神戸市立月が丘小学校4年 坂下仁那

学校の英語の時間に、ALTの先生から絵本を読んでもらいました。そして、クラスのみんなと楽しく振付をしながらおぼえました。

初めての英語暗唱大会で少し緊張したけれど、友達と一緒にいることができ、とても嬉しかったです。また、校長先生と担任の先生が応援に来てくれて、頑張ろうと思いました。

僕はみんなに伝わる様に大きな声と大きな振りに気を付けました。本番は、練習通りにできて良かったです。そして、大賞で名前が呼ばれたときは、とても嬉しかったです。これからも英語を頑張りたいです。

三木市立豊地小学校1年 藤原大暢

ことばの教室 日本語教室 バス研修旅行 ～淡路島吹き戻しの里・淡路人形座～

日本語教室の外国人学習者と日本語ボランティアのバス研修旅行の今回の行先は、淡路島です。道中、淡路サービスエリアに立ち寄り、快晴の海をバックに写真を撮ったり、お土産を見たりして楽しみました。

その後、懐かしいおもちゃ、伸び縮みする笛の製作体験ができる、吹き戻しの里へ向かいました。子ども達だけでなく、大人までが色や長さの組み合わせを考え、話しながら作成しました。ヘルメットにたくさんの吹き戻しがついた展示品などもあり、各々がかぶって記念撮影をしていました。



最後は、淡路人形座で人形浄瑠璃を鑑賞しました。外国人にとって舞台の内容は難しかったようですが、一体の人形を何人もの人が動かしているのを、興味津々で見つめていました。日本の歴史を感じる一日になりました。

2017/10/23

ことばの教室 日本語教室 救命救急入門コース(三木市消防本部)

今回で5回目となる講座に、外国人学習者17名が参加しました。

心肺蘇生法(AED使用法)は、設置されているのを見たことはあるが、初めて訓練を受けた方がほとんどで、とても熱心でした。

119番で救急車を日本語で要請する訓練もしました。覚えたての日本語で真剣に取り組んでいました。

日本語の理解が不十分な外国人にとって、このような訓練の大切さを改めて再確認しました。



2017/8/31・10/29 関西国際大学

外国人児童の居場所づくり ～関西国際大学との合同事業～



関西国際大学の講座の一環で、フィリピン人、シリア人とベトナム人児童の計4名が、大学生から夏休みの宿題支援を受けたり、知的ゲームなどを教わったりしました。あじあん祭では、大学生との再会を喜ぶフィリピン人とシリア人児童の計9名が、東南アジアなどの留学生の母国紹介ブースで、遊びやスポーツを通して異文化交流をしました。フィリピン人留学生のブースでは母語で歓談する姿も見られました。

このような交流が継続することで多様性理解が進み、充実した多文化共生社会が実現するのだろうと強く思いました。



みっきい夏まつり



日本語教室の外国人学習者や関西国際大学の留学生の皆さんが浴衣を着て総踊りに参加しました。出番待ちで、盆踊りの大先輩方にあいさつしますと、途端に皆の浴衣の着崩れを直してくださいました。また本番では一緒に踊り、うまく踊れていると誉めていただきました。

大きな輪には素敵な笑顔がいっぱいでした。その土地の素晴らしさは、言葉の壁を越え、そこに住む人の親切な行動から伝わることでしょ

2017/9/24 三木山総合公園

「三木市総合防災訓練と防災フェスティバル」に参加して

三木市に住む市民が身近に体験できる防災イベントに、「ことばの教室・日本語教室」に在籍するベトナム人3名、イギリス人1名、フィリピン人1名、タイ人1名、関西国際大学の中国人留学生4名が参加しました。協力して火を消すバケツリレーや、水消火器にチャレンジしました。

日本語に不慣れな外国人にとって、このような訓練に参加し、日頃から備えておくことが大切だと改めて実感しました。



2017/6~10 高齢者大学・中央公民館・緑が丘公民館・平田小学校

出前講座 ～外国人とのコミュニケーションについて考えよう!～

ゲスト 日本語教室学習者 小野村 智恵さん(ブラジル)、サミア・アルイマムさん(シリア)
スシラ・アチャリヤさん(ネパール)、黒田 タチアナさん(ロシア)



今年度、三木市の国際交流や多文化共生の実態を市民の皆さんに紹介する「出前講座」を開始しました。事務局から外国人の人口推移や生活相談の内容などを説明した後、ゲストが生活する中で困っていることなどを話しました。

小学校では、ゲストがロシアと日本の小学校の違いを紹介し、子どもたちにロシアの伝統的な人形作りを指導しました。

2017/10/24・27 三木市立隣保館

人権フォーラム ～わたしのひとこと～

スピーカー 市川佳佳さん(中国出身、2012年に帰化)、ナーフ・アブドゥル・カリムさん(シリア出身、在住9年)

障がい者や高齢者などの社会的弱者に外国人も含まれます。最近増加の一途をたどる三木市の外国人は、この2年間で300人以上増え、現在1,270人です。今回は日本語教室の外国人学習者がそれぞれの思いを語りました。

市川佳佳さんは、現在中国に留学中の次女を通して見えてくる教育における相違点を挙げられ、両者の良い点や改善すべき点などを話されました。

ナーフさんは、文化や言語の全く違う日本での苦労話や大型免許取得に挑戦した経験などを話されました。また母国の名産オリーブ石鹸の工場などのスライド紹介もありました。



金物まつりチャリティバザー&バザール

多くのボランティアさんに支えられ、市民の皆様からご寄付いただいた品物を販売し、**210,084円**を売り上げました。ご協力に心より感謝申し上げます。アフリカや東南アジアなどで支援活動をされているNPO団体を介し、必要とされている方々へお届けします。ありがとうございました。



ボランティア募集!

各種イベント・通訳翻訳・日本語教室の外国人学習支援など皆様のご協力をお待ちしています。

第2回 国際理解講座

日系人強制収容について

2017年12月24日(日)
13:30~15:30



三木市立中央図書館視聴覚室

参加費無料
要申込み

クリスティーヌ・モンターニュさん (シカゴ在住)

講演会の使用言語は英語と日本語です

※申込・詳細は、協会までお問い合わせください。

第3回 国際理解講座

平和映画祭 フィリピン20年の活動報告

2018年1月21日(日)
13:00~15:30

三木市立教育センター4階大研修室

参加費無料 要申込み

第1部

フィリピンドキュメンタリー
上映&監督トーク



第2部

市内在住フィリピン人によるアフタートーク

NPO法人サルボン
今泉光司監督

※申込・詳細は、協会までお問い合わせください。

COOL MIKI

2018年2月4日(日)

三木山森林公園「音楽ホール」

※申込・詳細は、協会までお問い合わせください。

第1部 英語 de 落語

開演:13:00~

会員無料 要予約

一般:前売 500円

当日 1,000円



第2部 日本語 de 発表

開演:15:00~ 入場無料

FMみっきい放送

76.1MHz

水曜日 午後12:30過ぎ

12月 子ども英語暗唱大会受賞者

1月 //

2月 外国人のトーク

3月 //

国際料理教室

シリアの家庭料理

2/25(日) 三木南交流センター

ことばの教室

ジョイントミーティング

3/11(日) 三木市立教育センター

会員募集!

様々な活動を通して外国人と異文化交流をしませんか? 入会は随時受け付けています。詳しくは事務局まで。

編集あとがき



皆様のご理解とご協力の下、国際交流と多文化共生の二本立てで事業を進めております。海外との姉妹都市交流では、豪州フェデレーション市(旧コロワ市)の訪問団を受け入れ、市民との異文化交流を促進しました。普段知りえない情報を交換する絶好の機会であり、お互いに視野を広げることができました。

ことばの教室では、受講生の皆さんが外国人講師から言語のみならず、歴史や文化などを学習されています。国際理解講座や多文化共生理解講座では、外国人によるプレゼンなどで三木市にしながら外国を学ぶことができます。

三木市に増えている外国人の国籍や民族は多種多様です。子どもの教育、医療や住居など外国人にとって厳しい現実がありますが、同じ地域に住む者として彼らに寄り添いながら、心地よい関係を築くよう心がけています。このように、MIAは人と人を繋ぎ、結び、マグネットのような役割を担う会として活動を展開したいと思っています。今後ともよろしくお祈りします。

編集・発行

三木市国際交流協会

Miki International Association

〒673-0492 三木市上の丸町10-30(市民ふれあい部 市民協働課)

【TEL&FAX】(0794) 89-2318

【E-mail】kokusai@city.miki.hyogo.jp

【HP & facebook】 [三木市国際交流協会](#)